

令和5年11月16日開催

都市基盤整備・危機管理対策特別委員会

委員 長 報 告

令和5年12月定例会

委員 長 宇 田 川 好 秀

去る11月16日に開催されました当委員会の審査概要について、ご報告申し上げます。

「川口市地域防災計画の全面改定について」報告を求めましたところ、次のような説明を徴しました。

現行の川口市地域防災計画について、策定から約10年が経過し、本市を取り巻く環境の変化を踏まえ、大規模災害時に迅速かつ的確な対応を行うとともに、業務の継続性を確保できるよう実効性の高い計画に全面改定を行うとのこと。

計画の改定においては、「市民にわかりやすく」「職員が使いやすく」「継続的な対応ができる」を改定方針とし、最新の防災アセスメント調査結果の反映や危機管理体制の見直し等を主要なポイントとして掲げ、また、計画の構成を本編・マニュアル編・資料編に分け、活用しやすいように整理するとのこと。

さらに、災害現場等の緊急対応時における標準化された組織マネジメント手法を導入し、本市の災害対策本部体制を見直すとのこと。

今後のスケジュールについては、令和6年4月の運用開始を目標として、川口市防災会議及び川口市防災対策推進委員会での協議のほか、パブリックコメントを実施するとのことでありました。

以上のような説明に対して、改定の方針にかかわり、DXを活用した災害対応の詳細について問われ、これに対して、川口市災害情報システムを活用し、災害情報の迅速な収集、分析及び共有によって迅速かつ的確な対応を行なっていくとのことでありました。

このほか、防災アセスメント調査における被害想定算定方法について等、質疑応答の後、本報告を終了し、委員会審査を終了した次第であります。

なお、現地視察として、消防用資機材の活用について視察をいたしましたことを付言いたしまして、報告を終わります。